

ご あ い さ つ

京都府高等学校体育連盟
両丹支部長 福井 真介
(京都府立綾部高等学校長)

今年の3月1日は珍しく雪となり、両丹地域の府立高校では厳しい寒さの中での卒業式となりました。2月中に卒業式を終えられた私立高校を合わせると、3000名を超える卒業生の皆さんが思い出深い学舎を後にし、新しい世界に向かって力強い一歩を踏み出されたことと思います。誠にめでたうございます。

卒業された全ての皆さんが高体連に所属し、各種大会や行事において素晴らしいパフォーマンスを見せ、スポーツを盛り上げていただいたことに心から感謝いたします。

今年度から、京都府高等学校体育連盟両丹支部長および京都府高体連副会長の大役をお引き受けすることになり、改めて両丹支部の歴史と伝統の重みをひしひしと感じさせていただきました。ようやく一年を終えようとしてしていますが、渡邊孝会長をはじめ本部事務局等多くの皆様から御理解と御支援をいただいたことにつきまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、一年を振り返りますと、何といたしまして、近畿総体（全国高校総合体育大会）において京都府が担当する6競技の内、レスリング競技とカヌー競技が舞鶴市と京丹後市久美浜町でそれぞれ開催されたことには、非常に大きな意味があったと思います。各々の競技を専門とする生徒、教員のみならず、地域社会の皆様にも高校生の全国トップレベルを身近に感じる機会となり、この両丹地域全体のスポーツ振興に大きな影響を与えたのではないのでしょうか。大会を成功裡に終えることができましたのも、担当された方々の計り知れない御苦勞があったからこそであると思います。本当にお疲れ様でした。

ところで、両丹支部関係の事業については、両丹高等学校総合体育大会（全日制及び定時制通信制）をはじめ、両丹高等学校駅伝競走大会、各専門部の大会を例年どおり終えることができました。一部施設の改修や天候不順等により、会場を変更したり、やむなく中止したりすることはありましたが、当該専門部や各校保健体育科の先生方の緻密な準備や的確な判断により、大きな事故やトラブル等はほとんど発生しませんでした。また、一般生徒対象事業についても、ボウリングという新たな分野に取り組みされるなど、スポーツへの関心を高める工夫がなされました。あわせて、先生方の御尽力に感謝いたします。

このような環境の中で選手の皆さんも素晴らしい活躍を見せてくれました。陸上競技女子やり投げでは京都共栄学園高校山下選手の日本高校新記録樹立、インターハイカヌー男子K-1で久美浜高校村野選手が準優勝、同じく男子K-4で同校村野・浦野・安井・野村組が第3位、インターハイレスリング男子50Kg級で網野高校由良選手、男子66Kg級で同校伊藤選手が第3位、女子65Kg級で海洋高校今井選手が第3位、ビーチバレーのマドンナ

カップ女子ジュニア選手権大会で福知山成美高校出口選手、西選手が優勝するなど、両丹地域に大きな感動と夢を与えてくれました。

また、定時制通信制においても、全国大会や近畿大会に4競技（陸上競技・卓球・バドミントン・ソフトテニス）で4校延べ40名が出場しました。中でも陸上競技女子円盤投げで宮津高校後藤選手が全国3位という輝かしい成績を残してくれました。

今年オリンピックイヤーということで8月のリオデジャネイロオリンピックに向け、現在、代表選手やチームが決定されつつありますが、いよいよ2020年には東京でオリンピック・パラリンピックが開催されることになっています。京都府スポーツ振興計画には、スポーツへの参加の仕方として「する」「観る」「支える」という3つの方法が挙げられています。両丹地域の高校生たちが東京オリンピック・パラリンピックと何らかの関わりを持てるようにするために、競技力の向上に合わせてスポーツへの興味・関心を高める仕掛け作りが求められることになり、各校及び各専門部、高体連両丹支部への期待が益々高まっていくと考えられます。

結びに、今後も京都府高体連両丹支部の取組について、多くの皆様から御理解と御支援をいただけますよう、切にお願いいたしまして、御挨拶とさせていただきます。